

まえだ くにお  
**前田國男展**

— 漆芸の探求と造形への挑戦 —



オブジェ「海神祭」2008年頃  
10.0cm×10.0cm×45.0cm

平成31年 3月20日(水)  
~3月31日(日)

入場料 無料

**浦添市美術館**

開館時間 9:30~17:00(入館は16:30)

※但し、金曜日は19:00まで(入館は18:30)

休館日 毎週月曜日 3月21日(月)春分の日は開館

お問合せ TEL.098-879-3219(開館時間内)

FAX098-878-1221

作家ギャラリートーク 会期中の土・日曜日 午前11時~12時

主催:浦添市美術館

7回目を数える今回の漆芸作家シリーズ展は、大宜味村で創作活動を続けている前田國男氏を紹介いたします。

前田氏は、沖縄工業高等学校漆工科を卒業後に同校で助手に従事する一方で、沖縄タイムス社主催の沖展に出品するなど創作活動をはじめました。兄で漆芸家の前田孝允氏の前田漆芸アトリエに入り共に活動し、さらに伝統的な漆の精製法と技術を学ぶため、老舗「紅房」に勤めて技を習得しました。特に沖縄独特の朱漆に魅了されたそうです。沖展や日本工芸会の西部工芸展などに出品し受賞を重ねました。故郷の大宜味村へ移ってから専業の側で作品の創作に挑み、作家として活動を続けています。オリジナルを求め探求し、身近な自然や文化を主題にとり入れた独特な作品には定評があります。そして、昨年5月に沖縄県指定無形文化財「琉球漆器」保持者に認定されました。

本展覧会では、前田國男氏の半生にわたる創意に満ちた作品約30点をご紹介します。この機会にぜひご覧ください。



卵殻笥「古代への想い」2007年  
16.0cm×45.5cm×28.0cm



盛器「サンセット」2000年頃  
29.5cm×47.0cm×5.0cm



堤盤「曙」1978年  
19.0cm×27.0cm×21.0cm



黒漆螺鈿盛器「せせらぎ」2015年  
21.0cm×33.0cm×5.5cm



黒漆螺鈿花器「大宇宙」1996～98年頃  
10.4cm×53.5cm×37.0cm

関連講座①

「漆芸家前田國男の魅力」

講師：糸数政次氏（沖縄県立芸術大学教授）

2019年3月23日（土）午後2時～4時  
会場/講堂 入場料無料 申込不要

関連講座②

「紅房時代と創作活動よもやま話」

講師：前田國男氏

2019年3月30日（土）午後2時～4時  
会場/講堂 入場料無料 申込不要

ギャラリートーク

会期中の土・日曜日 午前11時～12時

浦添市美術館へのアクセス

バスご利用の場合

【国際通りより】  
90（知花線）98番（琉大線）【大平バス亭】下車  
56（浦添線）【美術館前バス亭】下車  
【首里方面より】  
91、191（城間線）【美術館前バス亭】下車  
【開南・身儀方面より】  
55（牧港線）【美術館前バス亭】下車  
112（国体道路線）【大平バス亭】下車  
※いずれも徒歩5分

モノレールご利用の場合

ゆいレール【古島駅】下車→バスに乗り換え  
→21（新都心具志川線）90（知花線）・98（琉大線）  
112（国体道路線）【大平バス亭】下車→徒歩5分  
タクシーに乗り換え→国道330号を北へ3km、約10分

自動車ご利用の場合

【那覇空港】から国道330号を北（宜野湾方面）へ12km、約40分



※駐車場に限りがございます。公共交通機関をご利用ください。

浦添美術館  
ホームページは  
コチラから

